

トップページ

めざすべき未来

プロフィール

メッセージ

後援会

メール

こんにちは板東です

こんにちは 板東です

板東敬治が伝える市政報告

2005年5月1日号

### 海外友好都市・上海市盧湾区を訪問

4月10日から15日にかけて、会派で中国へ視察研修に行っていました。その目的の一つが、本市の友好都市である上海市盧湾区への訪問です。盧湾区とは平成6年に友好都市提携を締結して以来、教育・文化・スポーツ・商業・行政など幅広い交流を行っています。会派結成時より、海外の姉妹都市・友好都市への訪問を行いたいとの思いが、この度、実現いたしました。国内の先進市を視察することも大変有意義なものです。言葉・文化・歴史などの違う他民族都市を視察することや、国外の方々が日本をどのように見ているのかを、マスコミを通してではなく、生の声で聞かせていただくことは非常に意義深いことだと思います。寝屋川市の議会では、海外の視察に政務調査費をはじめ、公金を使うことはできません。今回の視察研修は、自費で行っております。



盧湾区人民代表大会常務委員会主任の江介華さんをはじめ8名の方々と交流をさせていただきました。

日本の市議会に当たるのが、常務委員会で、常務委員23名と役所・公安・裁判所から各1名により構成されています。常務委員会は2ヶ月に1度行なわれているとの事です。

議場は日本と違い、円卓形式でした。



上海市は、マンションの購入価格が、少し前まで1㎡40万円であったのが、今は60万円に上がるなど、かつての日本のバブル状態にあり、政府ですらそれを抑止できない程です。

上海新天地構想（都市の建設計画）の説明を受けましたが、背景のマンション群は今後も増え続けるとの事です。

完成は、上海で万博が行われる2010年を予定されています。



上海新天地は、かつての建物の外装をそのまま有効利用することで、街並みの統一性を図り、屋内をモダンな現代風に変えたり、外食産業の店の前は、一定のスペースを確保し、オープンカフェのように、様々なデザインの机と椅子が並んでいます。

街には、灰皿とゴミ箱が一体になったものが、あちらこちらに設置されており、路上にゴミが少なかったのも印象的でした。

### 姉妹都市って？

実は、姉妹都市の定義は、法律上定められておりません。辞書では、「文化交流や親善を目的として結びついた都市と都市」となっています。

また、姉妹都市と友好都市は全く同じ意味です。「姉妹」の言葉から上下関係を連想させるため、漢字を使用する盧湾区と寝屋川市では、「友好」という言葉に置き換えています。



盧湾区の採決は、この機械で行われる。盧湾区は大阪市で例えると、中央区にあたる。



議場で、全員と記念撮影。



盧湾区庁舎の入口には、「人民政府」と「人民代表大会常務委員会」の二つの大きな看板が掲げられている。

## マスコミ報道に大きな格差（当時）

日本製品の不買運動、日本大使館や日系スーパーなどへの暴動、日本人学生への暴行など、連日、日本のメディアでは中国の反日行動がトップで報道されています。上海の滞在ホテルで見ることができる、NHK 番組でも報道がされていました。

私どもの滞在中は、危険を感じる場面はなく、現地の方々から手厚い歓迎を受けました。実は、当時の中国では報道規制がされており、大部分の方々はその事実すら知らなかったのです。出発日の前日に旅行者の方が、中国現地ガイドに北京市内の反日行動を確認したところ、現地ガイドは「昨日初めてそのようなことがあることを知った」と日本国内とは大きくかけ離れた反応でした。

「歴史的に、北京大学の学生が火をつける」と現地人から聞かされましたが、今回も同様に学生から運動が広がっています。テレビ等では報道規制がなされるため、規制されないインターネットを通じて呼びかけています。

言論の自由・報道の自由が確保されている日本、報道規制がされる中国。情報過多の日本、情報操作のある中国。その体制は大きく違いますが、情報の受けて側がしっかりと取捨選択、内容の吟味をする必要があることは、どちらにも共通する重要なことだと思います。

国際的（特に日中間で）に大きな問題でもあり、解決のためには、政府間だけでなく、草の根の交流やコミュニケーションがもっと必要だと、今回の訪中を通して感じております。

実は、寝屋川市でもレスリング、ラグビーなどのスポーツ分野であったり、音楽の世界であったり、交流がなされていますが、より多くの方々に幅広い分野で参加いただけるような仕組みの必要性を感じております。

## 議員生活2年を終える

5月1日は1期4年間ある議員生活の中間点になります。幅広い政策の勉強、本市の抱える諸課題の対応など、いくら時間があっても足りないという、焦りを感じた2年間でした。

まだまだ不勉強なところが多く、「現場主義」「歩かない足には泥はつかない」という言葉をしっかりと肝に銘じ、自己研鑽に励むとともに「生まれてよかった 住んでよかった 寝屋川市」の創造のため取り組んで参ります。

今後とも、ご指導ご鞭撻賜りますよう、よろしく願いいたします。

## 民間の廃プラスチック工場の安全性を確認

環境にやさしい循環型社会を創るために設置される工場から、もし、健康被害を与える有害物質が発生するとすれば、それは本末転倒なことと言えます。

その心配があるということで、裁判所へ仮処分申請が出されていた件について、3月31日決定が出されました。

裁判所では、「工場から出る化学物質によって、周辺住民の生命の安全や健康に対して、受忍限度を超える被害がでる可能性は認められない」と判断されました。

生命の安全・身体の健康に被害がでるかが最も大きな争点でしたが、裁判所が認めるに至った根拠ともなる、「工場環境対策」を確認するため、当該工場へ視察に参りました。



水処理施設は、1億円以上の費用をかけられ設置されています。



### ○化学物質対策

環境基準を下回って出た化学物質も、成型機に不純物や水蒸気の除去装置をつけ、水処理施設に

送られ、除去されるとの事。

### ○排水処理

活性汚泥方式によって浄化し、基準値以下とした後、排水は公共下水道に放流。

### ○騒音対策

最も音のでる「破砕機」を地下に設置するとともに、防音カバーで覆われている。

### ○悪臭対策

食品残渣が原因となるところが多く、迅速な処理、室内管理を徹底するとの事。

**※見学をし、現場で業務の確認をすることも、チェック体制の一つになるのではないのでしょうか。**

仮処分申立に対する裁判所の結論（原文のまま記載）

本件施設が操業を開始することにより有害化学物質が発生する（注1）蓋然性があり、かつ発生すると予測される化学物質の中には、人体に有害な影響を与える物質も一部存することが認められるが、それらの化学物質が本件施設から100メートル以上離れている（注2）債権者らの居住地及び勤務先に到達する際には、大気によって相当程度拡散されることにより、国が定めた環境基準を確実に下回ることが推認できること、その予測の根拠となっている（注3）本件報告書の記述について、その信用性を疑わせる特段の事情は存しないこと、債権者らが主張する化学物質過敏症については、現段階では、本件施設の操業によって発生すると予測される化学物質が直接の原因となって債権者らにそのような症状を引き起こす高度の蓋然性があるとまでは認められないこと、本件施設には一定の公共性及び公益性が認められること、債務者も本件施設において相応の有害化学物質対策を講じていること、本件施設の建築、設置について、行政上の諸手続きが履践されていること等、本件において認められる諸般の事情を総合考慮すれば、本件施設の操業による化学物質の発生により債権者らの生命の安全及び身体の健康に対して受忍限度を超える被害が生じる蓋然性があるとまでは認められない。

以上によれば、債権者らの本件各申立ては、いずれも理由がないから却下することとし、  
(注4) 主文のとおり決定する。

注1 蓋然性・・・ある事が実際に起こるか否かの確実さの度合い ⇔必然性

注2 債権者ら・・・操業停止の仮処分申請を出した646名を指す

注3 報告書・・・福井県にある同類工場内外で計測した大気の結果報告書のこと

注4 主文・・・①本件各申立てをいずれも却下する。②申立費用は債権者らの負担とする。という

2つの採決のこと

## 寝屋川駅前に庁舎が・・・

昭和18年、九箇荘村・友呂岐村・豊野村・寝屋川村が合併し、「寝屋川町」となった頃、

町役場は現在の京阪寝屋川市駅前にありました。

木造平屋建172坪（間口30数間、奥行5間余）で、33間堂と呼ばれ親しまれており、

昭和27年には、議場が庁舎の南側に増築されております。

この南側に、駅前振興商店街があり、その南、京阪をはさんで木田のお宮さんと向かい合ったところに、駅がありました。



左は町当時、右は市になってからの写真  
建物は同一のもの

振興市場の様子

## フォトダイアリー

4000年の歴史を持つ、中国の歴史遺産や近代都市の一面をご覧ください。



万里の長城（全長3000  
kmある城壁）

参加者全員と天安門広場に  
（100万人集会が開けれ  
る）

夜の北京・商店街入口



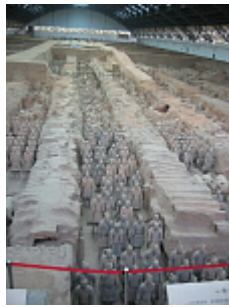
大雁塔（三蔵法師ゆかりの唐代に築かれた寺）



華清池（楊貴妃の像があり、入浴した風呂が残っている）



西安（元の名を長安）の鐘楼



### 兵馬俑

偶然発見された秦の始皇帝の副葬坑。「世界の8番目の奇跡」とも言われる。一体一体、顔も服装も違う人間と馬の等身大の俑。もともとは着色されていた。



豫園は江南式庭園。上海の浅草と呼ばれる豫園商城は500年の歴史を持つ商店の集まりで、多くの人種で賑わう。



上海市は、超近代的な建物の間に、昔ながらの建物が混在している。また、古い洋風建物（約1 km続いている）も残されており、生活文化も混在している。



上海新天地の構想を聞く。土地は国の所有であるため、地権者がいなく、土地収用は再開発の場合でも日本よりはスムーズだと聞く。しかし、最近では、立ち退きも以前のように簡単ではなく、居住者との立ち退きのルールが決められている。

